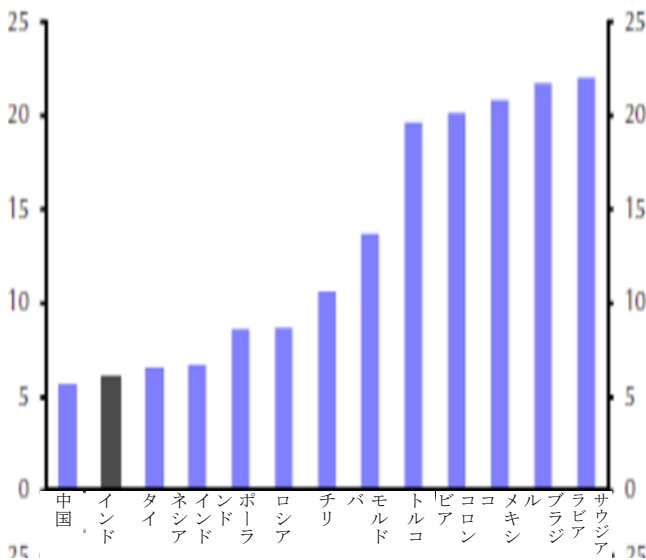
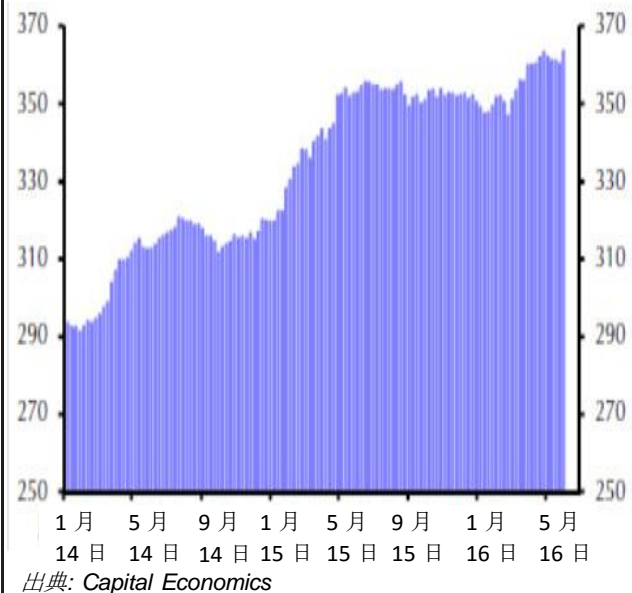


新興市場通貨 vs.米ドル (2015年1年1日以来の価値の下落%)



インドの外貨準備高 (単位 10 億米ドル)



### 1. Brexit と「Rexit」の月は6月度のルピーに限定的なボラティリティを作り出した

インド準備銀行 (RBI) 総裁 Raghuram Rajan 氏は 9 月末の契約切りに際し辞任する意向を表明した。このニュースの後に英国の EU 離脱を問う国民投票が行われた。しかしながら、ルピーのボラティリティは食い止められている。ルピーは年初来、中国を除く他の新興国に比べて比較的パフォーマンスが優れている (図表 1)。インドの対英国輸出総額は GDP のわずか 0.5% を占めるに過ぎず、それゆえ Brexit のインドへの影響は限定的であるはずである。

### 2. 記録的な高さの外貨準備高は通貨のボラティリティに対する緩衝材となる

インド準備銀行 (RBI) 発表の週間データによると、6 月 3 日に終わる週の外貨準備高は 3634.6 億米ドルという記録的な高さに達した。全体として、インドの外貨準備高は年初来継続的に上昇基調にある (図表 2)。

### 3. インドの名目 GDP 成長データは他の主要国経済と比べて傑出している

インド経済は 2016 年第一四半期 (同国の 2016 年会計年度最終四半期 1 月 - 3 月期) で対前年比 7.9% 成長した。その前の四半期の対前年比は 7.2% 成長であった。これによりインドは経済大国の中で優位に立った。

### 4. 経常赤字は過去 7 年間で最低水準まで収縮した

RBI データはインドの経常赤字 (CAD) が貿易赤字の縮小に後押しされて、会計年度最終四半期 (2016 年 1 月 - 3 月期) に 3 億米ドルまで縮小したことを示している。これは過去 7 年間で最低水準であり、その前の四半期の 71 億米ドルから急激に減少し、前年の 7 億米ドルと比較しても減少している。会計年度 2016 年の通年経常赤字は、会計年度 2015 年の 1.8% に比べて、1.1% にまで縮小した。

### 5. 消費者物価は上昇したが、依然 RBI の目標範囲内にある

5 月の名目インフレ率は食品と燃料価格の上昇により、4 月の 5.47% に比べて 5.76% であった。しかし、この値は RBI の現在の目標値 6% を依然下回っている。

### 6. インドの投資信託業界は 1 年間で運用資産額 18% 増加を経験した。

インド投資信託協会 (AMFI) によると、同国の投資信託業界により運用されている資産総額は、2015 年 5 月の 12.26 兆ルピーから、2016 年 5 月の 14.46 兆ルピーまで増加し、18% の成長を示している。

### 7. インドは 6 月 22 日に 20 の衛星の軌道投入に成功した

インド宇宙研究機関 (ISRO) は 26 分間隔で 20 の衛星を軌道に投入し、同国の投入成功率が NASA やロシア連邦宇宙局に近づき、世界的な宇宙産業におけるインドの存在感を高めている。20 の衛星のうち 17 は商用衛星であり、そしてそのうちの 1 つ (重量 725.5kg) は地球観測 (NASA のランドサットプログラムと類似した) に供用されることを意図したものである。このミッションの費用は、その他の宇宙局による類似の投入費用よりも 30% 少ない金額に相当する。

この報告書は株式やユニットのオファーの性質を持つものではなく、意見や広告の提案や提示でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、アドバイスを求めてください。